



インスピレーションになる

WEEKLY REPORT 2018~19

国際ロータリー第 2780 地区第5グループ

相模原大野ロータリークラブ

- ◆会 長:座間 勇 ◆幹 事:布野 一喬 ◆副 会 長:齋藤美希子
- ◆S A A:中丸 剛 ◆会報委員:宮崎雄一郎 ◆URL: <http://www.s-oono-rc.jp>
- ◆事 務 局:〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX:042(755)0901
- ◆例 会 場:相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1
- ◆例 会 日:毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail: oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp

平成 30 年 9 月 19 日 第 1194 回例会

会長の時間:座間勇

先週は大勢で相模原西 RC を訪問しました。例会の進行が異なり“Shake hand Time”は、初めての方には新鮮で、例会を盛り上げる効果的な方法だと思います。他の RC にも、皆さんと一緒に訪問してみたいと思っています。今日は、青少年交換でハンガリー派遣から帰国した、永野優風さんに来て頂きました。後程、1年間を振り返ってお話して頂きますが、青少年交換について少しお話したいと思います。私達のクラブは、RI 第 2780 地区の第 5 グループに所属しています。地区内には 1~9 グループあり、第 5 グループには 12 の RC があります。青少年交換は、ロータリーの親善大使として 1 年間外国へ派遣され、外国の文化を学び、日本の文化を紹介するプログラムです。海外派遣学生のカウンセラーを出す RC はスポンサークラブと言い、来日学生受入クラブをホストクラブと言います。私達もハンガリーには馴染みがなく、永野さんも不安を抱えての出発だったと思いますが、1 年間生活出来たということは、凄い事だと思います。私も地区委員として長く関わってきましたが、未だに ROTEX のメンバーと交流があります。永野さんも ROTEX に入って、後輩達の為に役立つ活動をし、自分を高めて頂きたいと思っています。今年度は、相模原南 RC がホストクラブとなり、ドイツからの女子学生を受入れています。何れ各 RC にも連れてくるという話なので、皆さんも理解を深め、ホストファミリーにも手を挙げて頂ければ嬉しく思います。大変な事もありますが、良い思い出も沢山出来ますので、部屋数に余裕のある方は是非経験して下さい。また、中高生のお子さんがある方は、青少年交換プログラムに挑戦することをお勧めします。

幹事報告:布野一喬

・「米山月間」卓話者派遣について

10/3 (水) 田島富美子 委員 (相模原西 RC)

・社会・国際奉仕セミナー開催案内 出席報告: 9/26

11/10 (土) 13~16 時 アイクロス湘南

・社会・国際奉仕セミナー用アンケートのお願い
回答期限: 9/26 (水)

週報受領 相模原南 相模原西 相模原グリーン
相模原柴胡

その他来信 ハイライトよねやま 222 号

例会変更 ※ビジター受付=クラブ事務局 ※受付無

9/21 (金) 津久井

9/26 (水) 相模原西

9/27 (木) 相模原※ 津久井中央

10/3 (水) 相模原西

ゲスト&ビジター

関戸 一守 様 (相模原東 RC)

永野 優風 様 (青少年交換学生/桜美林高校)

《会長幹事会報告》

- ・ My ROTARY の登録状況について
- ・ 年間プログラム作成の問題点 (地区協から短期間)
- ・ 新 RC 発足の件 (相模原カメラ RC / (親) 西 RC)
- ・ 地区大会参加のお願い

卓話: 青少年交換学生帰国報告

インスピレ

永野 優風 様 (桜美林高校)

皆さん、お久しぶりです。6/28 に無事ハンガリーから帰国しました。相模原大野 RC の皆様には 1 年間のサポート有難うございました。今日は、帰国報告として私の 1 年の思い出をシェアしたいと思います。ハンガリーは中央ヨーロッパに位置し、7 か国に囲まれた内陸国です。国土は日本の 1/4 程で、人口は約 1000 万人、母国語はハンガリー語です。私が住んでいたのは、首都ブタペストから車で 1 時間程の所にあるケチケメートという街です。国内 7 番目の街とされていますが、とても小さな街という印象です。ハンガリー派遣が決まった時は、少し心配でした。ハンガリーがどの様な国なのか、文化も言葉も何も知識が無かったからです。下調べをしようと思っても、来日ハンガリー人やハンガリー人の知り合いもおらず、



得られる情報が少なかったもので、殆ど何も知らない状態で現地に向けて飛び立ちました。私の留學生活は、ハンガリーの一般家庭にホームステイしながら、地元の公立高校に通うという形で始まりました。学校生活は、私が受けたカルチャーショックの中でも最大でした。人々の、学校や授業に対する認識や受け止め方は、日本とは全く違っていて新鮮でした。ハンガリーでは、授業が2時に終わってしまい、その後は各自自由な時間を持つことが出来るので、私は陸上部に通っていました。参加日数は自分で決めることが出来るので、自分のペースに合わせて放課後を過ごす事のできるこのシステムは、とても効率が良いなと思いました。家庭生活では多くを学び、私が一番成長できた場だと思います。私は1年間で3つのホストファミリーと生活しました。どの家族も毎週末、私をハンガリー各地にドライブに連れて行ってくれたり、オペラや演劇の鑑賞会に連れて行ってくれ、ハンガリーでしか出来ないことを、私が出来るだけ多く経験できるようにしてくれました。どの家族も生活習慣が全く違っていたので、時には戸惑うこともありましたが、自分の考えを伝えるためには、ダメでも言うことが大事なことだと学びました。友人関係は留學生活の醍醐味だと思います。学校は勿論、host brother&sisterの友達、他国のインバウンドなど、信じられない位友達が沢山出来ます。また、留學終了後も、世界中にいる友達と連絡を取り合うなどして交流を続けることが出来ます。ハンガリーのRCでは、ほぼ毎月、ハンガリー中のインバウンドと会う機会があったので、特に彼らとは仲を深める事が出来ました。毎月の留學生行事の中で、最も思い出に残っているのは、2回のヨーロッパツアーです。これは留學以前から、私がずっと楽しみにしていた年間最大の旅行で、南北ヨーロッパをそれぞれ10日間に分けて、バストリップ形式で回りました。毎日午前中はバスの中で過ごし、午後はヨーロッパ各地で観光しました。最高の友達と、15以上の国を旅した合計20日間は、今でも鮮明に記憶に残っています。また、1年間同じ街で過ごした、メキシコとアルゼンチンからのインバウンド2人とは、毎週当たり前のように会っていたので、帰国の際は本当に胸が締め付けられる思

いでしたが、今でも交流を続けていて、先週も半日の時差がある中、電話をしました。留學中、最も大変だと感じた事は、やはり言語の壁です。第2780地区にハンガリー派遣の前例が無かったことに加えて、ハンガリー語が世界でも難しい言語だと聞いていたため、出発前はかなり不安でした。現地で過ごす中、初めの3~4ヶ月が過ぎても、未だ話せるようにならなかったもので、大丈夫かなと思っていましたが、兎に角“人とハンガリー語で喋る”ことを意識していたら、自然と身につきました。言語というのは不思議なもので、使えば習得できるという特徴があり、逆に言えば、使わなければ忘れていくという特徴もあるので、この先は必死で身に付けたハンガリー語を絶対忘れるなんてことはしたくないので、勉強を続けて忘れないようにしていきたいと思います。私の留學生活について色々話してきましたが、今回私はハンガリー人だけではなく、世界中の人々と年間を通して交流しました。その中で国や国境という概念に縛られる必要はないと考えるようになりました。この世界には、沢山の人が沢山の言語や文化と共に生きていて、そのような人達とも友情を育み意見を交わすことが出来ると分かったからです。私はこの先、この考えを持って将来やりたいことを見つけて行きたいと思っています。ご清聴、有難うございました。

スマイル報告 今年度累計 ¥53,500

関戸一守 様 お久しぶりです。本日のメイクアップ宜しく願い申し上げます。

座間勇 会長 永野さん、1年間お疲れ様でした。本日は留學のお話、楽しみにしています。関戸さん、ようこそ大野クラブへ。

角尾彰央 会員 永野さんお帰りなさい！色々な経験をされ大きくなった気がします。スピーチも上手になってビックリしました。本日は卓話楽しみにしています。関戸さん、ようこそいらっしゃいました。楽しんで行ってください。

今後の予定

- 10/3 (水)【米山月間に因んで】田島富美子 委員
- 10/10 (水) 卓話「柔道から学ぶ人生」小口伸夫会員
- 10/17 (水) クラブ協議会《ガバナー公式訪問に備えて》
- 10/24 (水) →10/14 (日) 地区大会に振替

出席報告

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率	修正出席率
14名	2名	8名	4名	0名	0名	66.67 %	9/5 75.00 %